

【報道関係者各位】

2023年7月3日
鹿児島県鹿屋市ふるさとPR課

鹿屋市出身芸人「サンシャイン池崎」さんによる
「KANOYeah!CITY」プロジェクトが今年も始動！
『土用の「うしの日」なのに、なんで鰻を食べるんだ！？』
鰻か、牛か。鹿屋市の2大名産品の争いを描く
市民総勢60名出演のWEBムービー
「土用のうしの日問題」篇 2023年7月3日（月）公開

「KANOYeah!CITY」プロジェクト URL : <https://kanoyeah-city.jp>

鹿児島県鹿屋市は昨年に引き続き、今年も「サンシャイン池崎」さんを「クリエイティブディレクター池崎慧氏」として起用し、「KANOYeah!CITY」プロジェクトを実施します。新WEB CMでは、「土用の丑の日」に何を食べるべきかという問題を取り上げた「土用のうしの日問題」篇を、2023年7月3日（月）より鹿屋市の公式YouTubeチャンネル、特設サイト上で公開いたします。



「KANOYeah!CITY」プロジェクトは、鹿屋市クリエイティブディレクター池崎慧氏が、鹿屋市の魅力である豊かな食や住環境をより魅力的に発信するため、様々なディレクションをしていくというプロジェクトです。今回は、土用の丑の日に鰻を食べるべきか、牛を食べるべきかという大論争「土用のうしの日問題」がテーマとなっております。

＜土用のうしの日問題 篇 ストーリー＞

土用の丑の日にむけて鹿屋の鰻を PR する準備をするクリエイティブディレクター池崎慧氏と、鹿屋市の鰻生産者たち。するとそこへ突然和牛生産者たちが乗り込み、なぜ土用の「うしの日」に当たり前のように鰻を食べるのかという問題を提起。土用の丑の日に鰻を食べる由来が、「うしの日」にちなんで「う」がつく鰻を食べるものであることから（※所説あります）、それであればシンプルに「うし」を食べればいいはずだという主張を展開。

鰻と和牛という鹿屋の2大名産品による大きな争いに発展していくも、物語のクライマックスでは、クリエイティブディレクター池崎慧氏が、今年の鹿屋の土用の「うしの日」では鰻も牛も、両方推していくことを提言する。



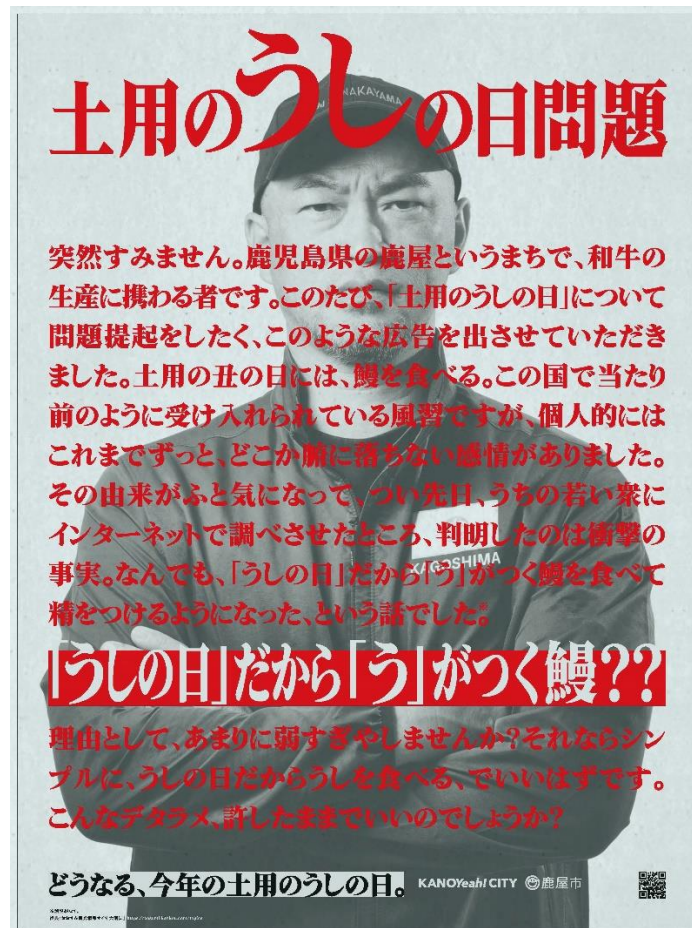
● 土用のうしの日に向けて鹿屋市は、鰻と和牛どちらも推していきます！

土用のうしの日におすすめの、鹿屋自慢の名産品である鰻と和牛はふるさと納税の返礼品として特設ページからお求めいただけます。<https://kanoyeah-city.jp>



●7月3日、土用の「うしの日」問題を提起する新聞広告を出稿！

土用の「うしの日問題」の発端となる和牛生産者からの提言を新聞広告でも届けていきます。



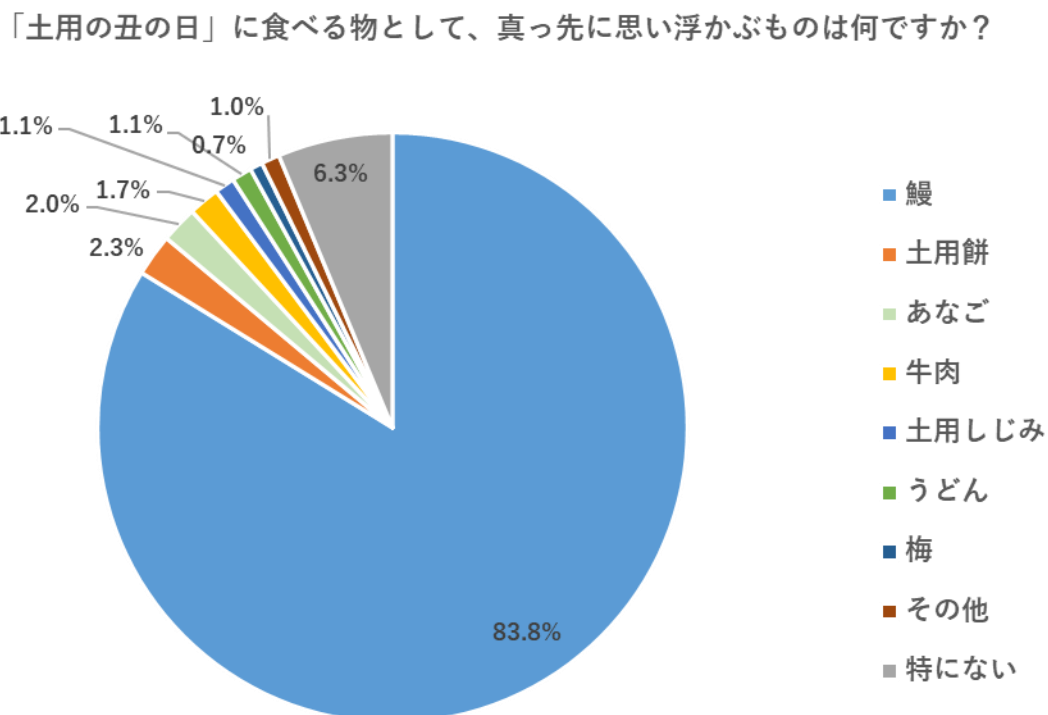
掲載紙：朝日新聞朝刊 東京 A 版、南日本新聞朝刊

掲載サイズ：15 段

掲載日：7 月 3 日（月）

● 土用の丑の日といえば、鰻を想起する人が 83.8%

鹿屋市が土用の丑の日に関する調査を実施したところ、土用の丑の日と聞いて真っ先に思い浮かべる食べ物は鰻と回答した人が 83.8%という結果に。今回の「土用のうしの日問題」での提言は、そんな日本の「当たり前」へ一石を投じるものになるかもしれません。



<調査概要>

- ・調査期間 2023年6月22日(木)
- ・調査地区 全国
- ・サンプル 888名
- ・調査割付 男女20代~60代
- ・調査会社 ジャストシステム

■ KANOYeah!CITY 特設ページ URL

<https://kanoyeah-city.jp>

■ 「土用のうしの日問題」篇 動画 URL

<https://youtu.be/FE5W0FMeTWA>

■ 放映期間

・2023年7月3日（月）～2024年3月31日（日）

〈出演者プロフィール〉

サンシャイン池崎（サンシャインいげざき）

1981年10月9日生まれ、鹿児島県鹿屋市出身のお笑い芸人。

ワタナベエンターテインメント所属。

特技は一発ギャグ、ボート、卓球。

「ジャスティス」や「空前絶後」、「イエEEEEーイ」など、ハイテンションな自己紹介ネタでブレイク。

現在自身のYouTubeチャンネル「サンシャイン池崎の超・空前絶後超絶怒涛のギャラクシーちゃんねる極」は登録者数50万人を超え、人気を集めている。

